



救急医療の利用は 正しい理解で 適正に



救急車や救急医療を、必要な人が必要な時に、安心して利用できるよう、救急医療機関や救急車の利用方法について、正しい知識を身に付け、適正に利用しましょう。

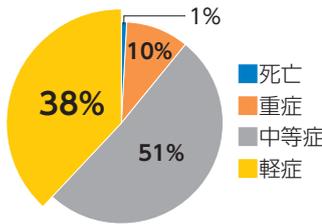
☎保健所総務課 ☎(626)1103

Q 救急患者が発生した場合は、すぐに救急車を呼ぶべき？

救急搬送の4割近くが軽症の患者

令和3年の救急出動は2万1,264件、1日の平均は58.3件。救急搬送された人の中で、4割近くの人が「入院を必要としない軽症の患者」でした(右のグラフ参照)。私たちにできる4つのこと(17ページ参照)を参考に、救急車を適正に利用しましょう。

傷病程度別搬送人員割合
(本市 令和3年)



119番にかけるのはこんな時

- ▼突然うまく話せなくなる。
- ▼突然の激しい頭痛。
- ▼胸が圧迫されるように痛む。
- ▼意識や呼吸がない。
- ▼交通事故や転落、転倒で強い衝撃を受けた。
- ▼大出血をしている、血を吐いたなど。

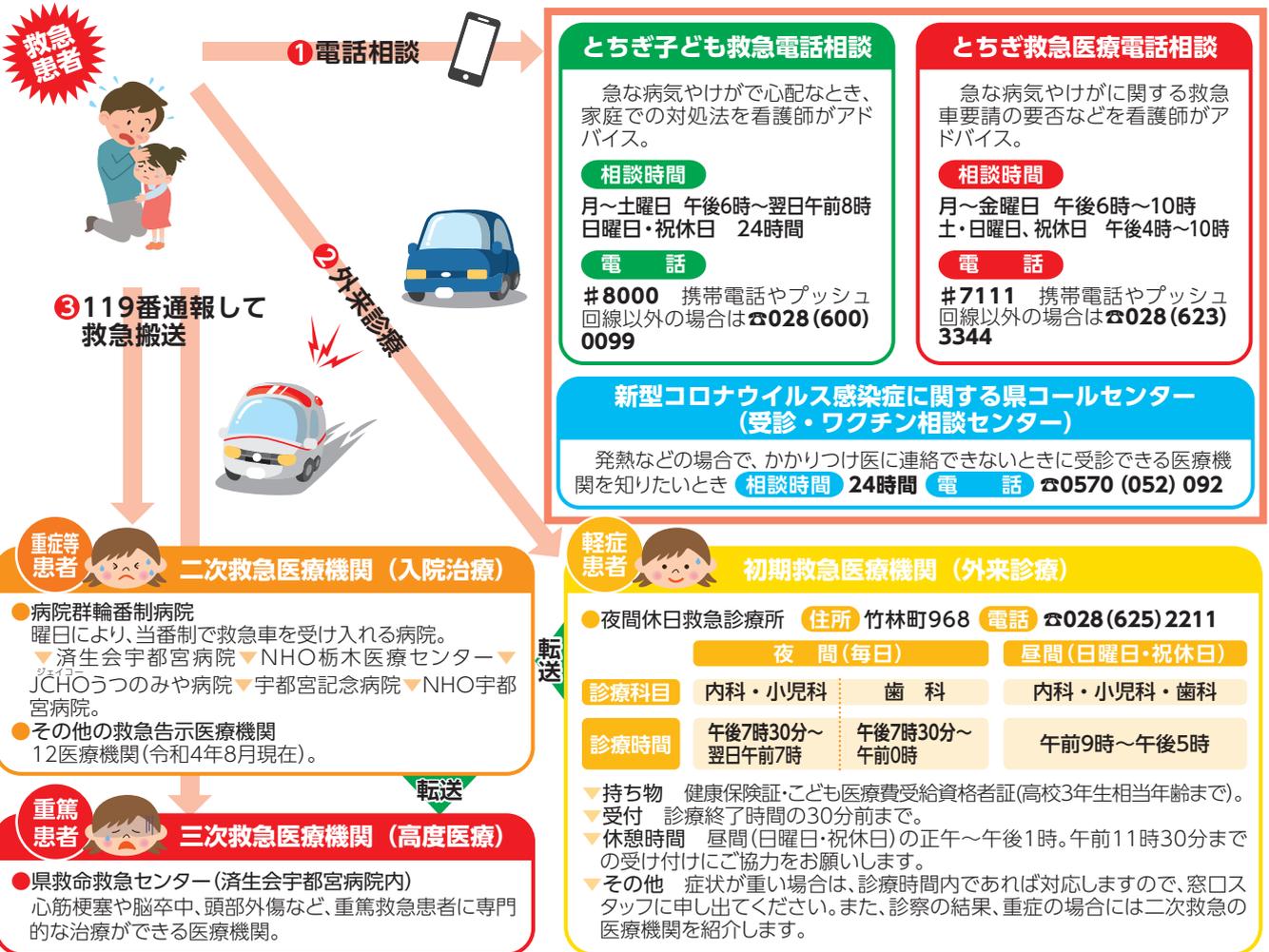


119番にかけた時は、慌てず正確に、通信指令員の質問に答えてください。

救急車の適正な利用を

救急患者の症状(軽症・重症等・重篤の3段階)によって、救急医療機関が分かれています。下の図を参考に、症状に合わせて、①電話相談②外来診療③救急搬送を適正に利用しましょう。

市救急医療体制



救急医療を本当に必要とする人が安心して治療を受けるために 私たちにできる4つのこと

ID 1026161

1 「かかりつけ医」を持つ

かかりつけ医とは、風邪などの病気による体の不調や健康に不安を感じた時に相談できる、身近な診療所などの医師のことです。体の不調を感じた時は、早めにかかりつけ医に相談し、適切なアドバイスを受けましょう。

なお、自宅近くの医療機関は、とちぎ医療情報ネット^{URL}で検索できます。

2 できるだけ昼間の診療時間内に受診する

救急医療機関を「夜間の方が空いているから」などの理由で、あえて夜間や休日に利用する人がいます。

救急外来は時間外に受診できる便利な医療機関ではありません。

救急医療を必要とする人が治療を受けるためにも、救急時以外に受診することは避けましょう。

3 夜間・休日の急な病気は夜間休日救急診療所へ

緊急時、比較的症状が軽い場合は、まず「夜間休日救急診療所」を受診してください。

なお、夜間休日救急診療所では、薬は原則1日分に限って処方されるなど、応急的な処置に限られているため、翌日にはかかりつけ医を受診しましょう。

診療科目など、詳しくは、16ページをご覧ください。

4 救急車を適正に利用する

令和3年に救急搬送された人の中で、4割近くの人が、入院を必要としない軽症の患者でした(16ページのグラフ参照)。

入院が必要になるほどの症状かどうかを判断するのは難しいことですが、「救急車を利用すればすぐに病院に行ける」などの安易な利用はやめましょう。



「もしも」に備えて



「宇都宮市AEDステーション」に登録しませんか

ID 1004604

市民の皆さんがAED(自動体外式除細動器)を利用しやすい環境づくりを推進するため、いざという時にAEDを提供できる事業所などを「宇都宮市AEDステーション」として登録しています。

登録施設には、ステッカーを配布し、設置情報などを市^{HP}で公表します。AEDの積極的な活用を広めるため、ご協力ください。



応急手当講習会

消防局警防課 ☎ (625) 3008

ID 1003342

- ▼日時 10月9日(日)午前9時～10時。
- ▼会場 西消防署(鶴田2丁目)。
- ▼内容 心肺蘇生法、AED使用法などの普通救命講習。再講習可。
- ▼定員 先着20人。
- ▼申込開始 9月5日午前8時30分。
- ▼申込方法 市^{HP}の申し込みフォームに必要事項を入力。
- ▼その他 講習会当日までに、パソコンなどで、応急手当^{ウェブ}WEB講習(e-ラーニング)の事前学習(市^{HP})から受講可)をお願いします。



▲市^{HP}

南消防署救急フェア2022

南消防署 ☎ (653)0119

ID 1021083

- ▼日時 9月4日(日)午前10時～午後1時。
- ▼会場 ミナテラスとちぎ(インターパーク6丁目)。
- ▼内容 親子で学ぶ「応急手当講習」、「きつず救急隊」体験、「救急活動デモンストレーション」、各種救急に関する体験など。ドクターカーなど多数の緊急車両の展示あり。
- ▼その他 詳しくは、市^{HP}をご覧ください。

救急の日・救急医療週間イベント2022

(中央消防署救急フェアも同時開催)

ID 1027361

- ▼日時 9月11日(日)午後1時～3時。
- ▼会場 保健所(竹林町)。
- ▼内容 「親子で考える 勇気を持ってAED」と題した、増田典弘さん(NHO宇都宮病院副院長)による講演、AED体験、ドクターカーなどの展示、ミニ救急車搭乗体験など。
- ▼対象 市内在住者。
- ▼その他 講演は事前申込制。その他は当日参加できます。詳しくは、市^{HP}をご覧ください。

救急受診の手引き

ID 1004350

救急受診の手引きでは、救急医療や救急車を適正に利用していただけるよう、普段から心掛けておくことや、夜間・休日に子どもが急な病気やけがをした時に、どのような対応をするのかを分かりやすく解説しています。

保健所などに置いてある他、市^{HP}からも閲覧できますので、ご活用ください。